

平成 25 年版 公共建築木造工事標準仕様書の正誤表について

お手持ちの仕様書の奥付（最終ページ）の発行日をご確認いただき、下記により該当の「正誤表」による訂正をお願い致します。

公共建築木造工事標準仕様書 平成 25 年版（平成 25 年 7 月 3 日発行「第 1 刷」）正誤表

平成 25 年 12 月

頁	章	節	項	項名称	訂正箇所	誤				正			
37	5	4	2	仕口及び継手の形状加工	表 5.4.1 野線訂正	位置		かみ合せの程度		位置		かみ合せの程度	
						一般の場合	小屋組	束	固く	一般の場合	小屋組	束	固く
								その他	普通			その他	普通
								床組各部	普通			床組各部	普通
101	8	2	5	接合金物・接合具	(e)	3)(1)から(3)まで以外のコンクリート用釘、その他の特殊な釘の材質、寸法及び形状は、特記による。				3)(1)及び(2)以外のコンクリート用釘、その他の特殊な釘の材質、寸法及び形状は、特記による。			
153	9	9	2	内壁板張り	(a) (b) (c) 表番号訂正	(2) 横羽目板張り・縦羽目板張りの工法は、表 9.8.5 による。 (2) 目板付縦羽目板張りの工法は、表 9.8.6 による。 (2) 敷目板張りの工法は、表 9.8.7 による。				(2) 横羽目板張り・縦羽目板張りの工法は、表 9.8.4 による。 (2) 目板付縦羽目板張りの工法は、表 9.8.5 による。 (2) 敷目板張りの工法は、表 9.8.6 による。			
161	9	10	7	床の間回り	表 9.10.8 「根太掛・根太」から「寄せ敷き」まで	「根太掛・根太」の名称欄、項目欄が入っている。				「根太掛・根太」の名称欄、項目欄を削除し、以降を繰り上げる。下表(表 9.10.8 床の間の工法(正))参照。			
206	15	2	3	ラス系下地	(d) (iii) ⑥	換気口部の防水処理は、特記による。特記がなければ、10.4.3 [施工] (b) (10) に準じて処置する。				換気口部の防水処理は、特記による。特記がなければ、10.4.3 [施工] (b) (8) に準じて処置する。			
248	16	3	2	性能及び構造	表 16.3.3 種別 2 段目	H-A 種				H-B 種			
258	16	6	4	形状及び仕上げ	(e)	表 18.2.3 [亜鉛めっき鋼面錆止め塗料の種別]				表 18.3.2 [亜鉛めっき鋼面錆止め塗料の種別]			
260	16	7	2	材料	表 16.7.3 野線訂正	部材欄「ふすま紙(上張り)」の種別 I 型と II 型の区分線有り。				部材欄「ふすま紙(上張り)」の種別 I 型と II 型の区分線を削除する。			

表 9.10.8 床の間の工法(正)

名称	項目	工 法
床板	下ごしらえ	床がまち当たりは、本ざねしゃくり出し又は板しゃくり出しとする。床板の裏面に、間隔 500mm 程度で根太兼用の吸付棧又は 400mm 程度で裏棧を取り付ける。
	取付け	隅柱に大入れ遣り返し、床がまちの小穴にはめ込むか又は板しゃくりに乗せ掛けて、くさび締め、隠し釘打ちとする。
落とし掛け	取付け	柱及び床柱に大入れ又はかね折り目違い入れ、遣り返し、くさび締め、隠し釘打ちとする。塗込め貫当りは、彫込み釘打ち又は目かすがい吊りとする。
ぞうきんずり	取付け	柱間に切り込んで、見え隠れより釘打ち又は床板へ接着剤で取り付ける。
薄べり床 下地床板張り	下ごしらえ	下地床板は、床がまちの上端より、薄べり厚さだけ下げる。下地床の長手方向は、寄せ敷きの内法寸法より、薄べりの巻込み厚さだけ短く作る。
	組立	下地床は、根太とともに取外しができるように、根太と下地床を組み立てておく。
	取付け	下地床は、根太掛になじみよく寄せ掛ける。
寄せ敷き	取付け	9.10.4(b)の量寄せの項による。